

基本方針

副理事長 木畑 匡

私たちの愛する堺市・高石市には語り継がれるべき偉人の功績や、魅力溢れる有形無形の文化資産があり、徐々に観光資源としても認知されつつあります。しかしながら、おもてなしの市民意識醸成や、観光推進に向けた行政と市民の連携はいまだ道半ばであり、地域資源の魅力が十分に浸透・発信されていません。私たちは時代に先駆ける地域のリーダーとして、この状況に一石を投じる必要があります。

まずは、現存する地域の文化資源の中で特に市民の参加意識が高く、老若男女が楽しめる「祭」に焦点を当てます。古より森羅万象すべてのものに神が宿ると考え、自然を畏れ敬い生活をしてきた私たち日本人にとって、祭りとはハレの場であり、生命に対する感謝の場でもあり、神聖な儀式とさえ言えます。カーニバルともフェスティバルとも違う、日本の伝統と泉州文化の「粋」を体現するセレモニーとしての地元の「祭」を、日本国内のみならずJCIのネットワークを通じて世界中に発信します。

また、地域で活躍する多くの主催者団体ともさらなる連携強化を図り、地元の市民には伝統的な文化資源の本質的な意味とコミュニティにおける重要性を伝えつつ、市民から愛されながら多くのビジターにも訴求力のある観光事業としての全く新しいプロモーションをおこないます。行政・地域・市民の連携力・発信力を強化し、堺市・高石市らしさ溢れる、全国、全世界から注目される観光文化資源の新たな魅せ方、参加方法を演出してまいります。

日本人が世界に誇るおもてなしの文化とは心の文化でもあります。当LOMが人の「心」の在り方を人との関係性でとらえながら地域社会に飛び込むことで、まさに歴史という縦軸と地域という横軸がしっかりと交わった、これまでにない骨太で地に足の着いた堺高石の文化伝承が実現します。あわせて、メンバー一人ひとりが故郷の誇りの伝道師としての活動を通じて心を磨き、文化的素養を備えた志高き青年経済人として成長を遂げ、地元の賑わいづくりの起爆剤としてのプライドを備え活躍することこそが、多くの人を惹きつけ、堺市・高石市のインバウンド強化と文化的且つ経済的な発展へ繋がるものと確信します。